

eラーニングの現代的課題 (ワークショップ)

オーガナイザ：吉根勝美（南山大学），山住富也（名古屋文理大学），
津森伸一（聖隷クリストファー大学），野崎浩成（愛知教育大学）

教育システム情報学会東海支部では、これまで5回にわたり、「e-Learning 教材の共有化における諸課題の解決に向けて」、「教材データベース構築における数値情報と文字情報の整合性について」、「データ分析に基づいたeラーニング開発に向けて」、「eラーニング教材の蓄積を活用した大学教育・生涯学習における新しい学習形態に向けて」等のテーマを掲げ、eラーニング教材に関わるワークショップを企画し、全国大会のプレカンファレンスとして実施してまいりました。

今日、社会の変化に対応できる資質や能力を育成するという観点から「21世紀型能力」について提言がなされている(国立教育政策研究所 2013)。21世紀型能力とは、思考力、基礎力、実践力からなるとされている。すなわち、科目を横断するコンピテンシー(汎用的なスキル)として、問題解決能力、論理的思考、コミュニケーション、チームワーク、メタ認知、自己調整、内省、批判的思考などが重視され、従来型の知識獲得偏重からの脱却と、それに合わせた新しい教育環境の構築や入試制度の改革まで進められようとしている。こうした新しい形態の学びを支援するにあたり、どのようなeラーニング環境が求められているのか、その現代的課題を登壇者が話題提供を行い、フロアの皆さまと一緒に考察を進めていきます。

2. 内容

東海支部では、支部活動の一つである“eラーニング勉強会”を通して、会員各自の研究成果をeラーニング教材として共同利用するという課題に取り組んでおります。今回のプレカンファレンスは、この勉強会の報告を兼ねて、「eラーニングの現代的課題」、すなわち、①反転授業でのeラーニング活用、②既存教材をeラーニング化するための諸課題、③21世紀型能力を育成ためのeラーニング環境の在り方などに着目し、研究発表会形式で報告と討論を行います。申込み時点では、以下の報告を予定しています。

「統計データ処理教育とプログラミング教育」
(南山大学 吉根勝美)

「e-Learning を活用した反転授業の試み」
(名古屋文理大学 山住富也)

「基礎物理学の反転授業における動画教材の活用と課題」
(聖隷クリストファー大学 津森伸一)

「e-learning システム開発における教育環境の変化への対応」
(日本データパシフィック株式会社 平 治彦)

「プログラミング必修化を考える」
(愛知教育大学 野崎浩成)